

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 横田 誠二

- I 開催年月日 平成 31 年 3 月 20 日（木）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午後零時 54 分
午後 1 時 00 分～午後 1 時 17 分
- III 出席委員等 〔出席委員〕◎横田 誠二 ○筏井 哲治 高瀬 充子
高岡 宏和 酒井 善広 上田 武
福井 直樹 狩野 安郎 畠 起也
(◎…委員長 ○…副委員長)
〔議長〕 狩野 安郎 (委員として出席)
〔副議長〕 坂林 永喜
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 林 貴文 中村 清志
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 宮島 謙治
柚原 規泰
〔傍聴者〕 1 名

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 1 号 平成 31 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分
- 議案第 4 号 平成 31 年度高岡市駐車場事業会計予算
- 議案第 5 号 平成 31 年度高岡市工業団地造成事業会計予算
- 議案第 9 号 平成 31 年度高岡市水道事業会計予算
- 議案第 10 号 平成 31 年度高岡市工業用水道事業会計予算
- 議案第 11 号 平成 31 年度高岡市下水道事業会計予算
- 議案第 18 号 高岡市手数料条例の一部を改正する条例
- 議案第 26 号 高岡市福岡農村環境改善センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 27 号 高岡市デザイン・工芸センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 28 号 高岡市勤労者余暇活用センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 29 号 高岡市営駐車場条例の一部を改正する条例
- 議案第 30 号 高岡市道路占用料条例の一部を改正する条例
- 議案第 31 号 高岡市営住宅条例の一部を改正する条例
- 議案第 41 号 高岡市里山交流センター条例の一部を改正する条例

- 議案第 42 号 高岡市まちづくり福岡工房条例の一部を改正する条例
- 議案第 43 号 高岡市中心商店街活性化センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 44 号 高岡市福岡観光物産館条例の一部を改正する条例
- 議案第 45 号 高岡市道の駅条例の一部を改正する条例
- 議案第 46 号 高岡市高岡御車山会館条例の一部を改正する条例
- 議案第 47 号 高岡市都市公園条例の一部を改正する条例
- 議案第 59 号 高岡市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 議案第 63 号 高岡市福岡にぎわい交流館条例の一部を改正する条例
- 議案第 64 号 高岡市農業センター条例の一部を改正する条例
- 議案第 65 号 高岡市福岡ふるさと会館条例の一部を改正する条例
- 議案第 66 号 高岡市福岡農業農村活性化農業構造改善施設条例の一部を改正する条例
- 議案第 67 号 高岡市創業者等支援施設条例の一部を改正する条例
- 議案第 68 号 高岡市地方卸売市場条例の一部を改正する条例
- 議案第 69 号 とやま・ふくおか家族旅行村条例の一部を改正する条例
- 議案第 70 号 高岡市雨晴マリーナ条例の一部を改正する条例
- 議案第 74 号 高岡市水道事業給水条例等の一部を改正する条例
「高岡市水道事業給水条例の一部改正」
「高岡市工業用水道事業給水条例の一部改正」
「高岡市下水道条例の一部改正」
「高岡市農業集落排水処理施設条例の一部改正」
- 議案第 75 号 高岡市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第 79 号 平成 30 年度高岡市一般会計補正予算（第 4 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 81 号 平成 30 年度高岡市駐車場事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 85 号 平成 30 年度高岡市水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 86 号 平成 30 年度高岡市工業用水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 議案第 87 号 平成 30 年度高岡市下水道事業会計補正予算（第 2 号）

以上、当初予算議案 6 件、条例議案 25 件及び追加提出された補正予算議案 5 件の計 36 件については、議案第 1 号のうち本委員会所管分、議案第 4 号、議案第 9 号から議案第 11 号まで、議案第 26 号から議案第 30 号まで、議案第 41 号から議案第 47 号まで、議案第 59 号、議案第 63 号から議案第 70 号まで、議案第 74 号及び議案第 79 号のうち本委員会所管分の計 28 件は賛成多数で、議案第 5 号、議案第 18 号、議案第 31 号、議案第 75 号、議案第 81 号及び議案第 85 号から議案第 87 号までの計 8 件は、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【議案第 1 号のうち有害鳥獣駆除事業費について】

- イノシシ被害が増加するなか、平成 30 年度予算と比較して減額されており、事業の後退と考えられるが、見解は。
- △ これまで、檻で捕獲したイノシシの殺処分については、1 頭当たり 8,000 円支払っていたが、殺処分の方法を猟銃から電気槍に変更することとしたため、その費用を減額している。
その他、鳥獣被害対策実施隊員の報酬が計上されているが、30 年度は有害鳥獣対策事業費に計上していたため、予算額は変わらない。

【議案第 1 号のうち農業後継者対策特別事業費について】

- 後継者の育成や平成 31 年度の強化策についての考えは。
- △ やる気のある後継者に対して、国・県の補助制度を活用し、支援していくことも 1 つの方法と思う。また、市内において、若手の農業後継者の会があり、農林水産省から受賞された方もおられる。そうした人たちの輪が広がっていくことを期待したい。

【議案第 1 号のうち農業センター管理委託事業費について】

- 農業センターで、男の料理教室や味噌づくり等ができなくなったことについて、不満の声が根強い。会場の確保等についての代替措置を求めるが、見解は。
- △ 農業センターの加工室の備品等も古くなっていることもあり、里山交流センターやコミュニティーセンター、J Aなどをお願いして、代替施設として使用できるよう対応している。料理教室や食生活改善推進委員の行事などについても、他の施設を代替施設として使用することをお願いしている。

【議案第 1 号のうち空き店舗における開業支援事業費について】

- 1 年間だけの支援では、厳しいという声もあるため、2 年間補助できないか。
- △ 空き店舗への開業支援については、これまで補助金で支援してきたが、リノベーションスクール等において専門家から、補助金を頼りにするような事業展開だと、補助金がなくなった時点で、その後が続かないという話を伺った。どうすれば継続的に経営ができるか考えると、事業主が覚悟を持って、融資等によりお金を借りる気持ちがないと事業は続かない。行政としての支援は、補助金よりはむしろ利子や保証料を補給するような支援が、双方にとって良いという考え方もある。今後の補助制度については、検討の余地があると認識している。

【議案第 1 号のうち商店街照明電気料補助事業費について】

- 平成 30 年度予算と比較して、減額しているが、商店街の活性化に反するのでは。
- △ 事務事業の見直しに伴い、30 年 7 月から補助金の一律 2 割カットを実施している。

【議案第 1 号のうち商業振興費について】

- 商店街のアーケードの修繕、撤去については、国の補助制度はないと聞いている。

今後、補助対象となるよう、国に要望していくべきでは。

△ 単なる改修等については、国の補助制度はなく、所有者である商店街で対応してもらうことが原則である。改修等の計画があれば、個別に相談いただきたい。

なお、計画的な修繕であれば、国の地方創生推進交付金などの制度で対応できる部分はある。今後そうした事例があれば、研究のうえ対応していきたい。

【議案第1号のうちプレミアム付商品券事業費について】

○ 商品券の発行には、効果がないという指摘もあるが、見解は。

△ 消費税増税の景気対策として、国では様々な対策を打ってきている。効果の有無については、現時点では分かりかねるが、消費税増税の影響を受けられる低所得者や子育て世帯の方々に対しては、非常に効果があると考えている。市内の対象者数は、約3万6,000人を想定しており、皆が最大2万5,000円のプレミアム商品券を購入すれば、単純計算で約9億円の効果が見込まれる。プレミアム部分だけでも、1億8,000万円の効果が見込まれると考えている。

【議案第1号のうち創業者支援資金預託金について】

○ 借りにくいという声もあるが、利用しやすくなるよう、これまでどのように改善してきたのか。

△ 事務的な運用で改善できるところがあるかもしれないため、具体的にどのように借りにくいのか、一度ご相談いただきたい。

【議案第1号のうち祭行事・イベント等開催事業費について】

○ 平成30年度当初予算と比較して、147万円減額されている。削減額が少ないと考えるが、見解は。

△ 30年度当初予算の事業費は、前年比で2割削減しているが、事業の実施にあたり、様々な創意工夫が見受けられた。31年度は、これらの決算状況を踏まえ、さらに工夫できる余地があるか、検討したうえで予算計上している。

○ 今年度の状況を踏まえて、次年度以降のことを考えていくのか。

△ 当該事業は、常に見直し、検討を繰り返していくこととなる。ただ、事業費の削減だけでなく、事業の内容も創意工夫し、効果的でそれぞれの事業の目的を達成するための考えを、イベントの実行委員一人ひとりに持ってもらうことが大事と考えている。

【議案第1号のうち高岡市観光協会補助事業費について】

○ 公益社団法人高岡市観光協会は、事業戦略や業務内容、方針について、どのように工夫していると考えているのか。

△ 高岡市観光協会の事業としては、コンベンションの補助や、団体旅行の助成、新高岡駅の観光交流センターの指定管理業務、高岡駅の観光案内所の運営といった委託業務がある。その他、修学旅行などの団体旅行の誘致や、大手旅行会社に訪問し、観光交流課とともに働き掛け等も含め、旅行商品の造成をお願いするPR活動を展

開している。

- 「ねんりんピック富山 2018」の開催期間は、新高岡駅の観光交流センターの営業時間を早めるべきではといった声や、御旅屋セリオ7階は人の出入りが少ないと考えられる。観光の活性化につながる取り組みを、今後検討していただきたい。(要望)

【議案第1号のうち高岡地域地場産業センター運営助成金について】

- 平成30年度と比較して約240万円減額しているが、その要因は。
- △ 人件費相当分を減額している。
- 高岡地域地場産業センターの来客者を増やすための方針はあるのか。
- △ 地場産センターの職員が、バス事業者、観光事業者等に定期的に訪問して、他からお客様を呼び込む取り組みを毎年行っている。1年間で概ね1,200人の来客につながっている。

【議案第1号のうち企業立地助成金について】

- 誘致企業の地元雇用や正規雇用はどの程度されているのか。また、地元雇用や正規雇用のさらなる確保を求めている。
- △ 企業誘致など職員が企業訪問する際に、地元雇用を行えば、助成金制度があることなどを、企業に対し常にセールスしている。また、働き方改革による労働法の改正についても、市内の各企業に十分に案内していると思っている。
過去10年間においては、新規雇用が677名で、うち本市に住所を有する方は172名である。企業立地助成金は、雇用が伴うことを原則として、新規立地のみならず、設備投資等にも活用できる制度である。これまでも、雇用条件を達成することで、本市の活性化につながるものと考えており、より有効な制度となるよう日々模索を続けながら、制度の改正等に努めていきたい。
- 企業の用地取得のみならず、市民が経済的にも助かるように、今後も頑張っていたきたい。(要望)

【議案第1号のうち大型クルーズ船受入事業費について】

- 平成31年度のクルーズ船の寄港予定数の見込みと今後の見通しは。
- △ 平成31年度は外国船1隻、日本船2隻の寄港を見込んでいる。日本船については「飛鳥Ⅱ」、外国船についての船名は未定である。ポートセールス等で一生懸命、営業に励んでいるところであり、次年度以降も、引き続き、市長のトップセールスをはじめ、関係機関と連携し、一丸となって、セールスに取り組みたい。
- 金沢港の寄港数が増える一方で、福井港もかなり力を入れている。一部の新聞報道によれば、1回の寄港につき、約4,000万円の利益が見込まれると報じられている。寄港数は、福井港より伏木港の方が多いと認識しているが、競争も激しくなるため、是非、強力に推し進め、地域の発展につなげていくようお願いしたい。(要望)

【議案第 1 号のうち道路橋りょう費について】

- 道路橋梁の長寿命化に係る実績と平成 31 年度の予定は。
- △ 市内の橋梁 1,138 橋について、平成 26 年度から 30 年度までですべて点検を終えている。そのうち、緊急措置段階である判定区分Ⅳの橋梁が 2 橋あり、30 年度中に撤去した。その他、北陸自動車道の跨道橋についても、中日本高速道路株式会社と協力しながら、補修するなど、その他 4 橋を修繕した。31 年度以降については、2 巡目の点検を行うとともに、30 年度の結果を踏まえた長寿命化計画を策定し、補修や修繕を行っていくこととしている。

【議案第 1 号のうち民間消雪施設設置助成事業費について】

- 民間の消雪施設の老朽化が進んでおり、地元の財政負担の軽減のための方策は。また、助成制度を知らないという声も聞くため、さらなる P R が必要では。
- △ 平成 30 年度は新規 2 カ所、修繕 5 カ所の実績がある。29 年度には、助成要綱の一部を見直しており、補助金の拡大を図っている。今後は、民間消雪組合からの様々な要望を踏まえて、支援の検討を考えていきたい。また、制度について、市のホームページ等でも公表しており、30 年度においては、各民間消雪組合に助成要綱の変更内容を案内している。今後も様々な機会を捉えて P R していきたい。

【議案第 1 号のうち道路整備事業費について】

- 道路整備事業費のうち通学路交通安全プログラムに関連した平成 31 年度の予算額と 30 年度の実績は。
- △ 31 年度の予算額は約 1,500 万円である。30 年度においては区画線の塗り替え、路面標示の設置など 34 カ所で整備を行った。
- 平成 31 年度の整備予定箇所数は。
- △ 夏休み期間中に、学校や P T A とともに、現地確認、パトロールを実施したうえで、整備箇所を確定することとなる。

【議案第 1 号のうち小規模急傾斜地崩壊防止対策事業費について】

- 国では、昨今多発する災害に対して社会基盤の点検を行い、その補強と対策として、防災・減災・強靱化のための 3 カ年緊急計画を実施することとしている。こうした国の財政支援について、調査・研究していただきたい。（要望）

【議案第 1 号のうちオタヤ開発株式会社貸付金について】

- 財政健全化緊急プログラムにより、中小・零細団体の補助金をカットしているなかで、特定の団体への貸付は不公平と考える。補助金の回復を求めるが、見解は。
- △ オタヤ開発株式会社は、依然として厳しい経営状況にあり、御旅屋セリオビルは中心市街地の拠点として、なくてはならない施設である。本市だけでなく、地元経済界からも協力を得て支援している。本市としても、引き続き、関係機関と協力しながら支援を進めていきたい。

【議案第 1 号のうち まちなか暮らし・あんしん共創事業費について】

- 平成 30 年度は 1,800 万円予算計上していたが、31 年度は 300 万円と大幅に減額した理由は。
- △ これまで、密集市街地のモデル事業として、博労地区において居住の推進を図る事業を進めてきた。30 年度に計上していた狹隘道路のモデル路線に係る工事費については、次年度に繰り越すことにより完了し、31 年度はコーディネートに係る委託料 300 万円のみ計上しているため、減額となっている。

【議案第 1 号のうち都市公園等管理委託事業費について】

- 高岡古城公園動物園の維持管理に係る協力金として、入場者から料金を徴収することを検討しては。
- △ クラウドファンディングなどの手法の活用など、市民から寄付を募り、財源に充てる仕組みを検討したい。

【議案第 1 号のうち移住・子育て世帯応援住宅取得等支援事業費について】

- 平成 30 年度は 480 万円計上していたが、31 年度は約 100 万円と大幅に減額した理由は。
- △ 住宅政策の補助メニューを整理するなかで、移住・子育て世帯応援住宅取得等支援事業費のうち約 300 万円をたかおか暮らし支援事業費に移行している。住宅取得支援に係る予算額は変わらないが、支援の内容を変えている。

【議案第 1 号のうち労働費、商工費及び土木費について】

- 産業振興部及び都市創造部の所管事業に係る補助金の削減は、市民の理解を得ているのか。また、平成 30 年度と比較した 31 年度の補助金の状況は。
- △ 都市創造部の所管については、主に住宅補助に関する補助金であるが、その都度、見直しを図っており、31 年度については、これまで、まちなかの居住を主に対象としてきたものの一部を、新たに策定した立地適正化計画の居住誘導区域まで対象区域を拡大した。
産業振興部の所管については、基本的に前年、前々年の実績を踏まえ、経済の動向については、なるべく将来を見据え、今後を想定しながら、補助金制度を組み直している。30 年度については、事業承継に関する立地助成金や生産性向上の助成金、消費税増税の影響を考えた融資制度の改正など、その都度、経済状況に応じた対策を考えて対応している。
- 財政健全化緊急プログラムに基づく平成 30 年度からの補助金の削減は、大枠として、本市の財政危機のしわ寄せによるものと考えている。必要な部分には、しっかりと補てんしていただきたい。（要望）

【議案第 4 号について】

- 以前より、市営駐車場における接客が悪いという声もあるなかで、消費税増税に

伴う料金改定を行うが、市民の理解が得られると思っているのか。

- △ 料金改定については、市営駐車場の1時間無料化の終了後、収入や利用状況を考慮して、やむを得ない措置であったと考えている。そうした中、少しでも利用者の方の立場に立った料金改定ができないかということで、20分間無料のところを、10分間引き上げて、30分間無料とした。これは、無料となる時間を拡大することにより、駅や周辺の商業施設の利用に寄与できないかといった考えを含んでいる。駐車場の問題については、今後も引き続き、市民や利用者の声を聞きながら、考えていきたい。

【議案第5号について】

- 造成中の企業団地「ICパーク高岡」への問い合わせ状況は。
- △ これまで、企業から10数件程度の問い合わせがあった。平成31年3月27日から、正式な申し込みの受付開始を予定しており、速やかに分譲が完了するよう、担当職員一同、鋭意、営業活動を進めている。
- 早期に完売するよう、努力をお願いしたい。(要望)

【議案第9号について】

- 県の受水単価や契約水量の見直しの努力をされているが、水道料金の引き下げは検討できないのか。
- △ 平成30年3月に、県との受水協定の見直しにより、年間給水量を6%減量し、税抜きで年間約2,000万円の受水費を削減した。引き続き、他の受水団体と連携して、県の企業局と、受水単価の引き下げ等について協議を進めたい。

【議案第11号について】

- 下水道事業会計に関して、一般会計からの繰入金の額について、他市と比較した状況は。
- △ 平成29年度の数値では、住民一人当たりの繰入金と平準化債の合計額は、本市が2万85円、県内他市の平均が2万4,331円であり、4,246円の差がある。
- 一般会計からの繰入金の引き上げについて、引き続き、努力していただきたい。(要望)

〔討論〕

(議案第1号のうち本委員会所管分、議案第4号、議案第9号から議案第11号までに反対の立場から)

- 議案第1号のうち本委員会所管分では、政府の消費税増税対策としてのプレミアム付商品券事業費が予算計上されているが、商品券の発行は、現金での購入が、商品券に置き換わるだけで、消費拡大の効果は疑問である。また、本市の第三セクター会社であるオタヤ開発株式会社に、5億6,000万円の貸付金が充当されているが、大多数の中小業者より、不公平であるとの批判がある。また、財政危機のしわ寄せを市民に押し付ける、各種補助金の削減は、市民の理解を得られないため、その回

復措置を求めたい。

議案第 4 号及び議案第 9 号から議案第 11 号までは、消費税増税を含んだ予算議案であることから反対する。なお、議案第 11 号に関しては、一般会計から下水道事業会計への繰入金を、県内他市の平均水準まで増額することで、下水道使用料の引き下げは十分に可能であるため、今後更なる努力を求めたい。

【議案第 26 号、議案第 28 号及び議案第 41 号から議案第 47 号までについて】

○ 「公共施設使用料の見直しに関するガイドライン」に基づき料金改定した本委員会が所管する施設について、平成 31 年度の利用者について増加を見込んでいるが、利用者増に向けた具体的な取り組みは。

△ 道の駅万葉の里高岡については、イベント広場における出展を、指定管理者が主体で、毎月、感謝祭を実施し、様々な企画を催しており、それを拡充、工夫を凝らしてやっていきたい。マグロの解体ショーなど周年祭を実施しており、催しを変えるなどして、声掛けをしながら、実施していきたい。

おとぎの森公園については、指定管理者の管理するホームページにおいて、利用案内を行っている。新たな利用者は口コミの方が非常に多いことから、指定管理者から多方面での利用を呼び掛けている。

高岡御車山会館については、団体旅行の商品造成については、引き続き、大手旅行会社に働き掛けるとともに、個人客の増加のため、ポスターやパンフレット、SNSを活用した情報発信に取り組んでいる。

○ 「公共施設使用料の見直しに関するガイドライン」に基づく料金改定は、現行の使用料の 1.5 倍を上限としているが、本委員会が所管する施設のなかに、ガイドラインによる算出の上限を上回った施設は含まれているのか。また、上限を設定しない場合の使用料は、現行の何倍になるのか。

△ 「道の駅万葉の里高岡」のイベント広場は約 1.9 倍、おとぎの森公園内にある「おとぎの森館」のアトリウムは約 2 倍、「森のふれあい館」の第 1 研修室は約 1.7 倍、「里山交流センター」の諸室は約 12～15 倍、「中心商店街活性化センター」の交流サロンは約 9.6 倍である。

福岡総合行政センター所管の施設については、小規模な施設で、事業費や床面積の関係から、最大で 10 数倍となっている施設も含まれる。今回、妥当とされた施設も含め、原則 3 年ごとに、使用料を見直していく方針が、ガイドラインに示されていることから、今後の利用状況を踏まえ、各施設の料金の見直しを検討していきたい。

〔討論〕

(議案第 26 号から議案第 30 号まで、議案第 41 号から議案第 47 号まで、議案第 59 号、議案第 63 号から議案第 70 号まで及び議案第 74 号に反対の立場から)

○ 議案第 26 号、議案第 28 号及び議案第 41 号から議案第 47 号までは、公共施設の使用料を大幅に値上げする内容が含まれている。本市の財政危機は、大型事業を推進した結果、生まれたものであり、受益者負担の原則を掲げ、そのツケを市民に押

し付けてはならない。施設使用料の値上げにより、利用者が減り、地域経済にとってマイナスとなるため反対する。

また、議案第 27 号、議案第 29 号、議案第 30 号、議案第 59 号、議案第 63 号から議案第 70 号まで及び議案第 74 号も、消費税増税を含む議案であるため反対する。

(議案第 26 号、議案第 28 号及び議案第 41 号から議案第 47 号までに賛成の立場から)

- 公共施設の使用料を、平成 31 年 10 月から、現行の 1.5 倍を上限に値上げすることは、本市の財政危機に乗じた、市民サービスの低下と負担増に追い打ちをかけ、施設の利用率の低下と市民の希望と活力が損なわれることが危惧される。緊急時であっても、市民への説明を丁寧に、時間をかけることが求められていることを、真摯に受け止め、今後の市政運営にあたってもらいたい。

(議案第 79 号のうち本委員会所管分に反対の立場から)

- プレミアム付商品券事業費に関して、商品券の発行は、消費税増税の対策としての効果は疑問である。また、消費税増税は中止するよう国に求めていくべきと考える。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) 平成 31 年度高岡市新分野開拓チャレンジ事業補助金及び高岡市チャレンジ新商品の公募について
- (2) 第 3 次食育推進計画について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔都市創造部〕

- (1) 平成 30 年度高岡市道路除雪の報告について
- (2) 平成 31 年度庄川・小矢部川総合水防演習について
- (3) 高岡市市街灯 L E D 化事業における事業者の選定結果について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【高岡市市街灯 L E D 化事業について】

- 平成 31 年 4 月から業務が開始され、L E D 化工事は 8 月から開始されるとのこと

だが、工事開始前のバルブ等の故障やＬＥＤ本体の不良が発生した場合は、誰が交換作業を行うのか。

△ 工事開始前のバルブ等の修繕やこの事業で設置したＬＥＤ本体の故障については、選定業者が対応する。また、現状の維持管理についても、選定業者が対応することとしている。

○ 平成 31 年 8 月以前に壊れた街灯については、これまで通り、平成 31 年 8 月以降については、選定業者が工事や維持管理を行うのか。

△ 現状でＬＥＤ化された街灯については、平成 31 年 4 月以降は、選定業者が対応することとなる。

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

。 次回の常任委員会の開催について

4 月 16 日(火)午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から次の要望があった。 〉

【公共施設の在り方について】

○ 勤労者余暇活用センターや鯉の里公園、芸文ギャラリー、とやま・ふくおか家族旅行村など公共施設の再編にあたり、民間でできるものは民間で行い、短期・中期・長期といった公共施設再編計画に掲げる実施時期にとらわれず、しっかり地域住民との話し合い、スピード感を持って取り組んでいただきたい。議会としても協力できることは、協力していくつもりであるため、今後、議論をしっかりと進めていただきたい。(要望)

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２９名）

産業振興部長	川 尻 光 浩	都市創造部長	堀 英 人
産業振興部次長 参事	宮 本 哲 哉	都市創造部次長	川 上 孝 裕
産業振興部参事（兼務）	渡 辺 朋 洋	都市創造部参事	渡 辺 朋 洋
産業企画課長	新 保 貴 之	都市計画課長	久 郷 聡
商業雇用課長	表 野 勝 之	花と緑の課長	堺 啓 央
観光交流課長	長 井 剛 志	道路整備課長	橘 茂 徳
農業水産課長	有 栖 友 広	土木維持課長	広 田 利 和
農地林務課長	村 本 民 則	建築政策課長	日 名 田 尚 明
みなと振興課長	須 田 稔 彦	営繕課長	大 野 一 信
福岡総合行政センター所長	鶴 谷 俊 幸	上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
福岡総合行政センター次長 地域振興課長	末 坂 進	上下水道局次長	嘉 信 和 昭
産業建設課長	堂 田 康 弘	上下水道局次長 下水道工務課長	小 嵐 正 吾
福岡まちづくり推進室長	池 田 政 弘	総務課長	五 十 里 康 夫
		営業課長	宮 田 修 司
農業委員会事務局次長	大 野 裕 隆	水道工務課長	炭 谷 信 之
		施設維持課長	浜 谷 圭 一